

がまこおり 議会 だより

● 3月市議会定例会 ●

- 一般質問… ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9
16年度一般会計予算 273億4,800万円
- 議会日誌…………… 10

NO. 39
2004 5/1



一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、10日、11日の2日間で4人の議員が会派を代表して質問し、3人の議員が個人質問を行いました。その主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬です。

蒲郡市政クラブ
代表 鎌田 篤司

こども議会の開催を

問 市制五十周年記念事業の一環として「こども議会」の開催を考えている。蒲郡の子どもたちに、故郷の今と未来の夢を提起してもらいたい。予算等その実現性はどうか。

答 開催にあたっては教育委員会ともども全面的に協力したい。こども議会の結果を事業採択し、行政に反映できる部分は積極的に採用し、将来を担う子どもたちの議論を実のあるものにしたと考えている。

進出・移転企業への優遇策は

問 市外からの企業誘致が進まない、また市内の優良企業が市外へ流出してしまう現状の中、これらの企業に対する優遇策が必要だと考えるがどうか。

答 優遇策に先立ち、用地確保が前提と考えるが、思うように開発適地が見つからないのが現状である。その中で西浦町原山砕石場跡地を工業用地としての開発を検討している。

一定規模の進出・移転希望があれば、開発を前提に関係企業との勉強会を設置して、事業の具体化を図っていききたい。また、開発が可能となれば、進出・移転企業に対する優遇策について検討する考えである。

形原西浦線の進捗状況は

問 形原、西浦方面の主要幹線道路は、幅員も狭く交通事故や、災害時の避難輸送路として心配な状況である。これらを解消するために形原西浦線を早急に整備する必要があるが、進捗状況はどうか。

答 十六年度から第三工区である県道東幡豆蒲郡線までの延長約四百六十メートル区間の用地買収に着手していく。

現在事業実施中の区間で、

形原西浦線の早期整備を



用地買収に大変苦慮している物件があるが、粘り強く交渉を進め、少しでも早期に開通できるよう努力する。最終的には土地収用も検討している。

保育園の効率的運用を

問 少子化が進む中、三位一体改革の一環として公立保育園の運営に対する国・県からの負担金が一般財源化された。

保育需要がさらに高まり、一方で財政面においてはさらに厳しくなるといふ現実を踏まえ、保育園の民間委

託や民間保育所の誘致なども視野に入れて、より一層効率的な運営を目指すべきだと思いがどうか。

答 多様な保育ニーズに対応するため、保育園施設の有効活用を図って需要に添えてきたが、これ以上の受け入れ拡大は困難な状況である。

ゼロから二歳児一人当たりの年間経費は百九十七万円、そのうち市費は百十二万円、三歳児では総額九十二万円のうち市費五十七万円、四、五歳児では総額八十七万円のうち市費は五十八万円かかっている。

今後も保育需要はますます高まると思われるが、新たな需要に対しては低年齢児保育の民営化や新たな民間保育所の誘致など多様な選択肢を考え、より一層の効果的な保育運営を今後一年かけて検討し、一定の方向性を出していきたい。

鳥インフルエンザ等の対策は

問 一月に発生が確認されて以来、広域的に飛び

火しているが、豊橋市の食肉処理場に運び込まれたことで、市民にも大変身近な問題になってきている。

今までのような対策を取ってきたか。また、万一感染が拡大した時はどう対応するのか伺う。

答 県の緊急防疫会議開催を受け、市民の鳥類ペット飼育調査を実施した。

また、三月一日号広報配布時に、注意事項、問い合わせ等のチラシを回覧した。今後も引き続き危機管理意識を持って関係機関と連携して情報収集、情報発信をしていきたい。

万一市内で鳥インフルエンザが発生した場合には、家畜伝染予防法に基づき、県知事の指揮下で活動することになる。

学校評議員制度について

問 学校評議員制度は、地域と家庭が一体となった個性豊かな学校づくりのためのひとつの方策であり、大切なことだと思うが、現在市内の小中学校では実施



していない。教育委員会を考えを伺う。

答 学校運営の視点に基づくさまざまな教育課題に対する外部からの評価は、教育活動を力強く推進していく上で極めて大切である。

蒲郡市立学校管理規則では、学校評議員制度の設置を認めている。各学校が運営を進めていく上で、この制度がより有効であると判断する場合は、これまで同様設置を認めていきたい。

競艇場従事員経費の削減を

問 競艇事業の自助努力の観点から従事員経費の削減に向けた今後の対応策

を伺う。

答 従事員費の削減の方法として従事員数の削減、賃金水準の見直し、雇用日数の調整等が考えられる。

従事員数は今後も発売体制の見直しや業務委託化を推進し、四百名体制に向けた取り組みを行っていく。賃金水準の見直しは、一時金の市職員並みの支給率までの引き下げや時間外手当の削減などを実施してきた。今後も売上げ状況に応じた見直し案を従事員組合に提案していきたい。

その他の質問

- 1 市町村合併
- 2 災害時の水の確保
- 3 小中学校の適正規模
- 4 児童館の事業展開
- 5 アオサ対策
- 6 自主防災組織 等

公明党蒲郡市議団

代表 伊 藤 勝 美

先進的・創造的事業への支援策

問 先進的・創造的事業への支援の具体策を伺う。また、国が創設予定の健康サービス産業創出支援事業に、市として取り組みを考

えはないか。

答 ベンチャーファクトリー支援制度をリニューアルし、より使いやすい制度として創造的事業活動支援制度をスタートする。また、商店街向けの支援制度

も引き続き行い、国・県の事業もメリットがあれば積極的に連携・対応していく。健康サービス産業創出支援事業は、今後、情報収集に努め取り組みの可能性を判断したい。



生活福祉資金貸付制度改正への対応は

問 生活福祉資金貸付制度の改正内容と市民への周知について伺う。

答 主な改正内容は、貸付手続きの簡素化、連帯保証人の要件緩和、離職者支援資金の貸付条件の緩和などで、十六年度中に改正が行われる予定である。周知は、実施主体の社会福祉協議会と福祉課の窓口によりフレットを置き、民生委員協議会で説明する。

学校教育について

問 LD、ADHD、高機能自閉症など特別支援教育が必要な児童・生徒の実態とその支援内容を伺う。

小中学校の環境衛生管理について、現在の管理状況と今後の取り組みはどうか。

答 二月に実施した調査では、通常学級に約二・六%在籍していると報告されている。支援について大切なことは理解とその子供

への深い愛情だと考えている。校内支援委員会の設置やコーディネーターの配置、個別の教育支援計画の作成など系統的支援に努める。

改正された学校環境衛生の基準では、一部教室の照度が下回るものがあつたが概ね全項目クリアしている。今後も保健所や学校薬剤師会など関係機関とも連携を図り、改善に向け対応する。

地域防災計画の 市民への周知を

問 市民の防災意識の高揚を図るために、市地域防災計画を市のホームページに載せてはどうか。

答 安全安心課のページに掲載していきたい。



蒲郡未来の会
代表 荘田博己

行財政改革 改革推進室の設置を

問 行政改革は意思決定組織の見直しが重要である。今までどおりの部課では自ら事業を廃止・縮小するのは困難である。また、縦割り行政の弊害を排除する必要もある。そこで、「行政改革推進室」を設け、権限を集中させてはどうか。

答 貴重な提言として受け止めたいと思う。

保育園の民営化を

問 保育園の民営化はコストを削減でき住民サービスの向上にもなる。また、全国的な動きになっている。本市でも段階的に進めれば十年ほどで半数の園を民営化できると思うがどうか。

答 低年齢児保育の民営化や民間保育所の誘致を含め検討している。



学校施設の耐震化の 早期実現を

問 本市の小中学校の建物の耐震化は三六%しか進んでいない。これは全国的にみても低い水準である。市内の全小中学校の図書室に一億五千万円かけてクーラーを設置することであるが、この費用を耐震化に使うことはできないか。

答 クーラーの設置は、十六年度から導入される二学期制に対応するものである。二学期制では学期の途中に入り込む夏期休業を活かした継続的な学習が

できるが、大きな学習成果をあげるにはクーラーの設置が必要と考えている。

子どもへの虐待防止 策は

問 家庭内での子どもの虐待・いじめが社会問題になっている。市はどのような対策をとっているのか。

答 毎月一回、子育て支援センター、家庭相談員、主任児童員などをメンバーとする相談員連絡会を開き、情報の一元化及び支援方法を検討している。緊急性の高いケースは必要に応じて東三河児童・障害者相談センターが主催するサポート会議を開き、必要な措置をとっていく。



- その他の質問
- 1 病院・保育所・学校・公民館などの全面禁煙
 - 2 介護保険事業の不正請求
 - 3 地域の学校経営参加

日本共産党蒲郡市議員
代表 柴田安彦

政府予算と 地方財政について

問 政府の進める三位一体の改革は、不十分な税源移譲のもとで、地方財政を圧迫するものになっている。新年度予算ではこの影響をどのように見込んでいるか。また、地方自治の確立のための財源をどう確保していくのか。

答 地方交付税等の削減により、税源移譲を差し引いても三億七千三百万円の不足を生じている。これは、国の財政再建のみを優先した施策で、今後国による確かな財源保障や地方財政措置が必要であり、

機会あるごとに国に対して要望していく。

競艇専用場外発売場の閉鎖の準備を

問 毎年一億円以上の赤字が続く川崎町の専用場外発売場の収支状況と長期的な見込みはどうか。財政面での寄与がなければ、閉鎖のための準備を進めるべきではないか。

答 開設当初の平成十年度は、収益があがったが以後毎年売り上げが低下し赤字が続いている。赤字削減のため、新年度からナイ



ポートピア川崎

ターレースの九十日開催等により売り上げ増加を図り収支の改善を期待する。また、開設時の経過等を考えればばらばら様子を見たい。

個人質問

山本和希（無党派）

平成十六年度
予算大綱について

問 市税等の滞納が非常に増えているが、徴収について法的な措置を取るべきではないか。

また、競艇事業での岡崎市交付金のその後の交渉経過と今後の見通しはどうか。

答 税の公平性を保つため長期、大口、悪質な滞納者に対し、差押え等の法的手段を講じていきたい。交付金については、岡崎

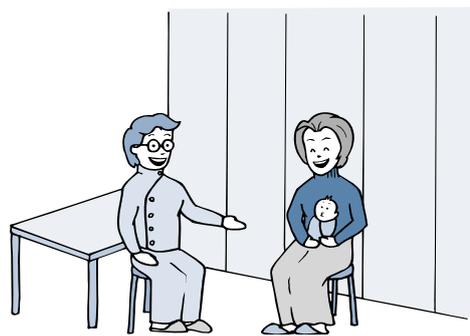
市も売上げに対する配分から収益に対する配分でやむを得ないという感触に変わってきている。今後最終決着に向け鋭意努力していく。組織産業振興の今後の方向性について伺う。

答 究極的には「提案型産地づくり」を目指しており、どこにも負けないモノづくりと併せて、企画力提案力の強化が必要である。当面は地域ブランドとして商標登録した「夢織人」での展開を進めていく。

日恵野佳代（日本共産党）

障害を持つ乳幼児の
発達支援について

問 ふれあいの場に保健師や心理相談員も配置できないか。また、運営・指導に児童課が責任を持つべきではないか。幼稚園に通う障害児へのフォローにつ



いての考えはどうか。十六年度に心理相談員による相談を実施する。運営・指導は、児童課を中心に取り組みたい。幼稚園へは研修会や専門機関の指導の際に参画を呼びかける。

消費者保護行政の 充実を

問 悪質業者から市民を守るために消費者行政の充実を求める。

答 出前講座のメニューに「消費者トラブル」を加えて啓発に努める。

その他の質問
1 若者の居場所づくり

松本昌成（公明党）

災害時要援護者の登録と競艇に依存しない財政を

問 災害が発生した場合に援護を必要とする者を事前に登録しておく制度を、豊田市では十六年五月から開始すると発表した。本市でも開始すべきではないか。



答 制度創設に向けて研究検討をしたい。

問 競艇収益が減少しているにもかかわらず、競艇に依存しない財政運営が必要ではないか。

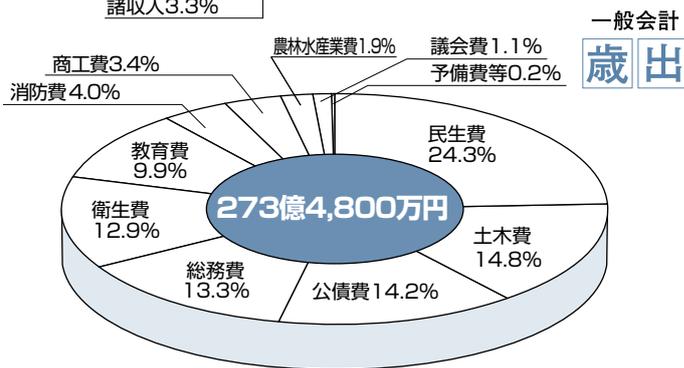
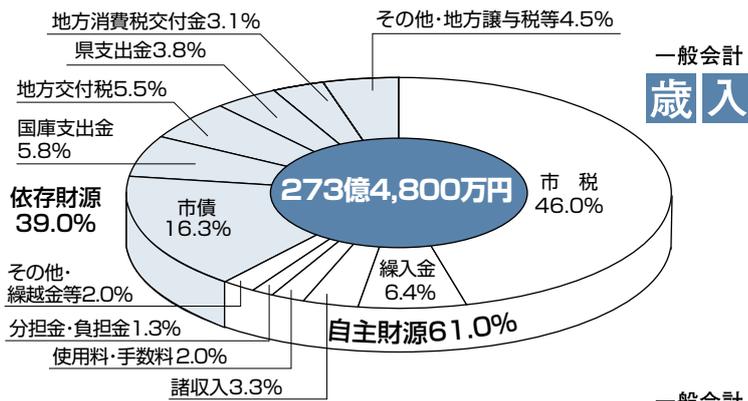
答 今後は多くの競艇収益は望めないで、財源確保のため、人件費の削減、施設の統廃合、事務事業の見直し、アウトソーシング（民間に外部委託）など更なる行財政のスリム化が必要と考えている。

アウトソーシングについては、保育園、給食センター、図書館、勤労青少年ホーム、体育センター、市民会館、勤労福祉会館等を対象に十六年度にプロジェクトチームを設け検討したい。

平成16年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開き、議案28件、請願1件、意見書案2件を審議しました。
平成16年度一般会計予算など、主な内容をお知らせします。



平成16年度

	予算額	対前年度比
一般会計	273億4,800万円	6.6%増
特別会計	1,037億2,740万円	13.2%減
企業会計	113億920万円	4.3%増
計	1,423億8,460万円	9.3%減

平成16年度特別会計・企業会計予算

会計別	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業	67億4,060万円 5.1%増
	老人保健	66億9,990万円 1.8%減
	介護保険事業	33億4,370万円 6.3%増
	モーターボート競走事業	817億7,500万円 16.5%減
	土地区画整理事業	21億5,090万円 9.3%減
	公共用地対策事業	3億7,070万円 75.1%増
	下水道事業	26億600万円 3.2%増
	三谷町財産区	3,640万円 12.7%増
	西浦町財産区	420万円 2.4%増
	企業会計	水道 収益的
水道 資本的		6億2,810万円 15.5%増
病院 収益的		84億8,760万円 4.0%減
病院 資本的		4億1,600万円 33.5%減

16年度予算

平成十六年度一般会計予算など十二会計予算は、二十四人の委員からなる予算審査特別委員会(委員長鈴木木八重久、副委員長小林武男)を設置し、審査しました。

審査は、三月十七日、十八日、十九日の三日間に渡り、慎重に行いました。

●一般会計予算

前年度比6.6%の増

一般会計予算は、総額二百七十三億四千八百万円の前年度比六・六%の増となっています。しかし、この増額分については、過去の

市債の借り換え分、他会計繰出金の増額に伴うもので、実質的な伸びではありません。

歳入の四六・〇%を占める市税は、個人・法人市民税合わせて八千六百万円の減、固定資産税で八千万円の増を見込み、その他市たばこ税の増など、市税全体では前年度並の百二十五億八千三百五十万円です。

歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が六一・〇%、市債、国・県支出金、地方交付税などの依存財源が三九・〇%となっており、自主財源が前年度と比べ三・四ポイント減少しました。平成十六年度の新規施策の主なものは、次のとおりです。

市制五十周年記念事業のため三千七百六十一万五千円が計上されました。その内訳は、「音楽のまち蒲郡」事業に二千万円、「地域の里づくり」事業に七百万円などです。

収納率の向上と滞納者数の減少、納税意識の高揚を目的とし、納税推進員を設

3月定例会の日程

2日	本会議〔会期の決定、 予算大綱説明、議案 説明など〕 予算審査特別委員会
10日	本会議〔一般質問〕
11日	本会議〔一般質問〕
12日	総務委員会
15日	経済委員会
16日	文教委員会
17日	予算審査特別委員会
18日	予算審査特別委員会
19日	予算審査特別委員会
24日	本会議〔委員長報告、 質疑、討論、採決〕

けるため一千四百六十七万七千円が計上されました。特別養護老人ホーム整備に対する補助事業として一億一千万円(うち十六年度一千六百五十万円)が計上されました。

仮称・ちゅうぶ児童館建設事業として一億四千九百七十万円が計上されました。四歳未満児までの通院医療費の助成を六歳未満児まで拡大し、入・通院ともに六歳未満児まで助成を行うための費用として、一億六千三百三十万円(うち拡大分四千七十万円)が計上されました。

そのほか、緊急地域雇用創出特別基金事業に八千三百万円余をはじめ、三河大塚駅公衆便所設置事業、蒲郡港線のせせらぎ築造工事

事業、災害ハザードマップ作成事業、花博・万博に向けての誘客事業などが予算化されました。

予算審査特別委員会での主な質疑は、次のとおりです。

■歳出
●総務費

市制50周年記念事業

問 「地域の里づくり」事業は、七つの地区総代にそれぞれ上限百万円を交付し、地元民に親しまれる事業をおこなってもらうものである。しかし、十七年度以降も運営管理費が必要な場合、市はどうするのか。

答 上限の百万円のなかには、十七年度以降の運営管理費も含まれている。ただ、事業が十年、二十年と長く

続き地元根付くようであれば、地元で運営管理をお願いしたい。

●民生費

児童館の管理委託

問 児童館を民間に管理委託する考えはあるか。

答 民間委託すれば、ある程度の経費削減は可能かと考えている。住民サービスが向上されるようであれば民間委託も一つの選択肢である。ただ、住民サービスが向上されるかどうかは不安である。

●衛生費

ごみ問題

問 ごみの不法投棄の状況はどのようか。また、どう対処しているか。

答 十五年四月から十六年二月までの間で六十二件の不法投棄があった。民有地に不法投棄された場合は、市職員が現地に出向き調査をし、不法投棄者が特定できる場合には警察に情報提供している。

●農林水産業費

とよおか湖公園

問 とよおか湖公園をより魅力あるものにするために、どのようなことを考えているか。

答 遊歩道の周りにイロハカエデのような季節感のある木を植え、四季折々の景色を演出したい。

●商工費

エコバッグ

問 エコバッグ推進運動事業とはどのようなものか。

答 エコバッグの製造を中小企業に委託する雇用対策事業である。委託先は販売額等が三年前の五分の一以上減少しており、事業に占める人件費の割合が五割を超える企業などの条件がある。

●土木費

三河大塚駅多目的トイレ

問 どの位置に設置し、完成はいつ頃になるのか。

答 駅前を予定しているが、用地のほとんどがJR用地のため協議が必要であり、まだ具体的な位置は決まっていない。JRとの交渉も含め完成までには早くても六カ月程度は期間を要すると考えている。

●消防費

災害ハザードマップ

問 災害ハザードマップの作成は、どのような形を考えているのか。また、どう活用していくのか。

答 平成十六年度に県下各市が防災マップの作成を計画しており、また、国も自治体向けの作成マニュアルを手掛ける予定と聞いている。そうしたものを参考に作成したい。また、活用は、防災の出前講座等様々な機会をとらえPRしていく。

●教育費

図書室の有効活用

問 全小中学校の図書室の



～エコバッグ～
レジ袋等削減のため、スーパーやデパートなどで頻繁に用いられている簡易式の買い物バッグ。

空調設備を整備するとのことであるが、夏休み期間中、図書室を有効活用する方策は考えているか。

答 各学校の十六年度の夏休みの詳細な計画はまだ決まっていない。

■歳入

滞納繰越額の増加

問 年々増えている市税の滞納について、どのように処理していこうと考えているのか。

答 納期を忘れたとか納付書をなくして滞納したような軽微なものは納税推進員により対処していきたい。難しいものについては、職員において法的措置を含め毅然とした態度で臨んでいく。

●モーターボート競走事業特別会計

交付金問題の早期解決を

問 競艇の収益が減少する中、岡崎市への交付金の問題は早急に結論を出す必要がある。考えはどうか。

答 これまででは売上げに対する割合という形で推移してきたが、このままでは岡

崎市への交付金の方が蒲郡市の会計への繰出金よりも多くなってしまうことが目に見えている。十六年度の早い時期に収益に応じた割合とするよう最大限の努力をする。

●水道事業会計

年度末給水栓数は三万六千、一日平均給水量は、二万八千五百八十六m³とされています。収益的収支は、一億一千四百五十万円の赤字予算となっています。

●病院事業会計

一日平均入院患者数を三百六十三人、外来は千百六十人と見込んでいます。収益的収支は八億一千九百八



蒲郡市民病院

十万円の赤字予算です。

問 病院経営の目標管理についてどう考えているか。

答 収入確保のために何をするかというところは医療の場合ないと考える。現在、入・通院の一日当たりの収入は他の同程度の一般病床数の病院と比べて遜色の無い額である。しかし、これは結果であって、目標とすべきものではない。医療の根底は、患者の安全であり、そのための努力は惜しまないが、収入達成のための努力を目的とした医療を行う考えはない。

条例の改正

●期日前投票制度創設による投票管理者・立会人の報酬額の改正 (第3号議案)

公職選挙法の改正により、選挙期日に投票することが困難な人が、期日前に確定投票する期日前投票制度が創設されました。

それに伴い、期日前投票所に配置する投票管理者及び投票立会人に支払う報酬額を現行の条例の区分の中

■請願

①「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」
提出を求める請願書
提出者 竹内康子氏
審査結果 採択
(○内の数字は、請願番号)

■陳情等

○自動車NOX・PM法に関連した施策実施を求める陳情書
提出者 松井謙一氏
審査結果 聞きおく

○「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」
提出を求める要望書
提出者 生活クラブ生活協同組合
理事長 藤井忠里氏
審査結果 採択

○愛知県豊川養護学校のマンモス化を解消させる陳情書
提出者 石井幸代氏
審査結果 採択

で支払うための改正が行われました。

●総務委員会での主な質疑

問 期日前投票所は市内に何カ所設けるのか。

答 市役所に一カ所設けま

●喫煙所設置規制の緩和 (第4号議案)

喫煙率の低下及び喫煙に関する意識等の社会情勢の変化に対応するため、防火対象物における喫煙所の設置に関する規制の緩和等、火災予防条例の一部が改正されました。

従来、劇場や百貨店等の消防上の指定した場所では、喫煙を禁止し、それ以外の場所に喫煙所の設置が義務づけられていましたが、全面的に禁煙とする場合などには喫煙所を設けなくてもよいようになります。

また、劇場等に設ける喫煙所の床面積についても、火災予防上支障がないと認められる場合は、客席の床面積の十分の一以上としなくてもよいこととなりました。

●総務委員会での主な質疑

問 今回の改正で該当する施設は市内にどれほどある

3月定例会で審議された議案一覧

○条例の改正

- ① 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
- ② 市職員の退職手当に関する条例の一部改正
- ③ 市報酬額及び費用弁償額に関する条例の一部改正
- ④ 火災予防条例の一部改正
- ⑤ 道路占用料条例の一部改正
- ⑥ 手数料条例の一部改正
- ⑦ 乳幼児医療費助成条例の一部改正

○同意

- ⑧ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ⑩ 西浦町財産区管理委員の選任

○予算

- ⑫ 平成16年度一般会計予算
- ⑬ 平成16年度国民健康保険事業特別会計予算
- ⑭ 平成16年度老人保健特別会計予算
- ⑮ 平成16年度介護保険事業特別会計予算
- ⑯ 平成16年度モーターボート競走事業特別会計予算
- ⑰ 平成16年度土地地区画整理事業特別会計予算
- ⑱ 平成16年度公共用地対策事業特別会計予算
- ⑲ 平成16年度下水道事業特別会計予算
- ⑳ 平成16年度三谷町財産区特別会計予算
- ㉑ 平成16年度西浦町財産区特別会計予算
- ㉒ 平成16年度水道事業会計予算
- ㉓ 平成16年度病院事業会計予算

○補正予算

- ㉔ 平成15年度一般会計補正予算(第4号)
- ㉕ 平成15年度老人保健特別会計補正予算(第1号)
- ㉖ 平成15年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ㉗ 平成15年度土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
- ㉘ 平成15年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

○その他

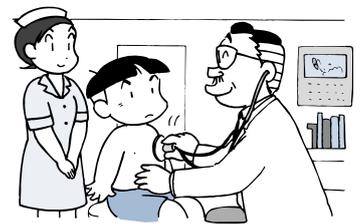
- ⑨ 人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑪ 市道の路線認定、廃止及び変更

(○内の数字は議案番号。⑫、⑯は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

か。
答 喫煙に関する事項については、千㎡以上のスパーマーケット十五施設と市民会館、体育センターの計十七施設です。
●六歳未満児の通院医療費を全額助成
(第7号議案)
 少子化対策及び子育て支援の一環として、これまで四歳未満児に対して実施されていた通院医療費の全額助成を六歳未満児まで拡大します。この改正により、

六歳未満児では、入院・通院ともに医療費の自己負担分が助成されるようになります。また、助成方法も変更され、病院窓口で保険証と乳幼児医療費受給者証を提示すれば無料となります。
●文教委員会での主な質疑
問 対象を未就学児までとせず、六歳未満児としたのはなぜか。
答 未就学児とすると、四月生まれと三月生まれとでは助成期間に十一月の差が生じます。公平性の観点から六歳未満児といたしま

した。
その他の議案
●固定資産評価審査委員会委員の選任
 委員小林英生氏の任期が五月十四日に満了すること



に伴い、同氏を引き続き委員として選任することに同意しました。
●人権擁護委員の候補者の推薦
 委員松井慶彦氏の任期が六月三十日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員として法務大臣に推薦することに賛成しました。
●西浦町財産区管理委員の選任
 管理委員一人の辞職に伴い、鈴木哲夫氏を後任委員として選任することに同意しました。

意見書

- ① 容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書
 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣に3月24日送付。
- ② 県立豊川養護学校のマンモス化の解消を求める意見書
 愛知県知事に3月24日送付。
 (○内の数字は意見書案番号。いずれも全会一致で可決されました。)

議会日誌

1月17日から4月16日

1月

28日 幸田町議会との交流会

2月

20日 議会運営委員会理事会

23日 3月定例会告示日

3月定例会提出議案説明会

予算説明会

26日 議会運営委員会
議会運営委員会理事会

3月

2日～24日

3月定例会

19日 議会運営委員会

24日 議会だより編集委員会

26日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

4月

7日 議会だより編集委員会

15日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会



五月臨時会 六月定例会の 開会日・日程は

五月臨時市議会は、五月十三日(木)に開会します。臨時会では、議案の審査のほか任期満了になる各常任委員と議会運営委員の選

任等が行われます。詳しい日程は、五月十日(月)に開かれる予定の議会運営委員会です。それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、市役所一階ロビーでもお知らせします。

六月市議会定例会は、六月十一日(金)に開かれる予定です。詳しい日程は、決まり次第市議会のホームページに掲載します。市議会のホームページ(上の欄外に記載)にアクセスしていただき、お知らせ欄をご覧ください。

本会議を傍聴するための傍聴証は、会議当日、市役所七階の議会事務局で先着順にお渡しします。

点字版とテープ版も 発行しています

議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とテープ版も発行されています。点字版は点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、テープ版はボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で行われています。

電子版 議会だより

市議会ホームページでは、議会だよりをPDF形式で掲載しています。

印刷したものと同様にパソコンからも議会だよりをご覧いただけます。

こちら編集委員会

66-1169

3月議会は1年の予算を決める最も重要な議会です。

本会議はもちろん、予算審査特別委員会においても、様々な立場から活発な意見がたたかわされました。

ときには、声を荒立て、顔を紅潮させてのやりとりも見られました。

厳しい財政事情は蒲郡市でも例外ではありません。

低迷する競艇事業、医療費や介護費用の増加など心配はつきません。

市民の安全、安心のため、議員は早朝から夜遅くまで議論をたたかわせ、予算の審議をしました。

議会のことば — 延会と散会

延会と散会は、ともにその日の会議の終わりに使われることばですが、延会は、その日の議事日程に記載されている事件の一部を残して会議を閉じる場合に、散会は、議事日程のすべてを議了して会議を閉じる場合に使われます。

例えば、蒲郡市議会では、一般質問の日程を3月議会は2日間、それ以外は3日間として日程を組んでいますが、1日に何人という決め方はしていません。そのため議長は、1日目、2日目などで次の日に質問者を残してその日の会議を閉じる場合には「延会します」、質問者すべてが終了した場合には「散会します」と発言し、その日の会議を閉じています。

なお、会期の終わりは「閉会」となります。